

平成 27 年度 第 1 回 インセンティブワーキング

日 時: 平成 27 年 6 月 3 日(水)13 時 30 分~15 時 00 分

会 場: 産業貿易センタービル 9 階会議室

1 開会・あいさつ

- (1) YCVB 事業部長兼事務局長 田丸よりご挨拶
- (2) YCVB MICE 振興課スタッフ紹介
- (3) ワーキング幹事のご紹介
- (4) 参加事業者自己紹介

2 平成 27 年度のインセンティブワーキング概要説明

- (1) インセンティブワーキングについて
- (2) 日本のインセンティブ旅行の動向について
- (3) YCVB のインセンティブ関連の取組みについて

3 インセンティブワーキングでの取り組みについて意見交換

- (1) 国内商談会への共同出展について
- (2) 勉強会の開催について
- (3) 参加事業者様からのご提案
- (4) 今後のスケジュールについて

4 その他

参加事業者様からのお知らせ など

5 閉会

.....【配布資料】.....

- 別紙① 平成 27 年度インセンティブワーキングについて
- 別紙② JNTO インセンティブ関連資料
- 別紙③ 平成 27 年度 YCVB のインセンティブ関連事業について
- 別紙④ 横浜 MICE 開催応援プランのご案内
- 別紙⑤ 横浜コンベンションプランナーズガイド
- 別紙⑥ VIJIT JAPAN MICE マート 2015 共同出展資料
- 別紙⑦ 平成 27 年度 第 1 回賛助会員事業推進連絡会のお知らせ
- 別紙⑧ 平成 27 年度インセンティブワーキング参加者名簿

平成 27 年度 第 1 回 インセンティブワーキング 議事録

■実施日時：2015 年 6 月 3 日（水）13 時 30 分～15 時:00

■場 所：YCVB9 階会議室

■出席者（敬称略）：

神田 辰明	（JTB コーポレートセールス）
山本 義彦	（近畿日本ツーリスト）
岩本 美津子	（三溪園保勝会）
桜井 康晴	（高島屋 横浜店）
石井 修	（幹事：ハードロックカフェ横浜）
尾島 敏郎	（ホテルニューグランド）
千貫 利和	（横浜シティ・エア・ターミナル）
山中 美沙	（横浜八景島）
金澤 玲朗奈	（幹事：横浜ロイヤルパークホテル）
田口 真希	（横浜市文化観光局）
太田 理沙	（横浜市文化観光局）
田丸 祐一	（YCVB, 事務局長）
加納 弘子	（YCVB, MICE 振興課課長）
秦 誠一	（YCVB, MICE 担当課長）
青木 思生	職員
堀 由貴	職員
松永 千穂	職員
直原 好（文責）	職員

■議事内容：以下の通り

1 開会・あいさつ

- (1) 田丸事務局長より、今年度 4 月より MICE 増強の為、MICE 振興課を増強している。インセンティブはコンベンションと比べて非常にリードタイムが短いと言われており、成立から半年以内に実施等もありうる。これは、一つの事業体で対応することは容易ではない。このワーキングを機に皆で協力していける環境を作りたい旨、挨拶。
- (2) 石井氏（幹事：ハードロックカフェ横浜）、MICE の E は Event と言われているが、Exciting や Entertainment、買い物や食事等楽しみが必要。横浜に来て良い思い出を作り、それを本国に持って帰って頂くことが重要。ハードロックカフェでは 61 ヶ国、160 店舗（施設は 200）にて色々な成功事例がある。これらの事例を共有しながら、横浜を盛り上げたい旨、挨拶。
- (3) 金澤氏（幹事：横浜ロイヤルパークホテル）、ホテルはホテルでの MICE のアプローチがある。情報共有を進めることで、互いに気づき、学び合い、共に成長できるようにしたい。一年後には実績や、達成感が持てるような 1 年にしたい旨、挨拶。

(4)参加事業者自己紹介においては、山本氏（近畿日本ツーリスト）より、「本社での勤務経験も活かしたい」や、神田氏（JTB コーポレートセールス）より、「直近はJNT0に出向しており、アジアのプロモーションを担当。その前はJTBのバンコク及びシンガポールに駐在しており、その間はアウトバウンド（日本への送客）を担当。これらの経験を活かしたい」等の声も聞かれた。

2 平成 27 年度インセンティブワーキング概要説明

(1)青木職員より、別紙①及び②に基づき、JNT0 が誘致に関わり成功したインセンティブの統計と指標から、MICE の中でもインセンティブは主にアジアが過半数を占め、その中でも台湾・韓国が有力マーケットであり、他のコンベンション等とは傾向がやや異なる旨を説明。また、中国においては、インセンティブの場合はビザ申請要件が緩和されることから、FIT よりもインセンティブの波が早く来る可能性も大いにある。加えて、資料は全て JNT0 が誘致に関わったものだけであり、実際の数はこれよりも当然大きい旨を指摘。

(2)YCVB のインセンティブの取り組みにつき、別紙③に基づき説明。

- ・「YCVB の海外出展」に関連し、堀職員より 5 月に世界最大の見本市である IMEX2015 での活動内容を説明。特に、インセンティブ特有の内容（チームビルディングやアクティビティ等）、より個人的な内容が求められた。また、各バイヤーは東京に拘っていた訳ではないが、横浜独自の魅力や、“YOKOHAMA” の知名度向上の必要性を訴えた。
- ・秦課長より、訪日インセンティブ旅行向け「MICE 応援プラン（支援）」の概要を説明の上、事業者の皆様からもインセンティブの問い合わせなどがあつた際には、ご案内頂きたい旨お願い。
- ・インセンティブ旅行を取り扱う国内ランドオペレーターへのセールスについては、海外誘客担当と共同での実施を検討中である旨案内。

3 インセンティブワーキングでの取り組みについて意見交換

(1)青木職員より、別紙⑥に基づき、YCVB として現在 2 ブースを抑えており、共同出展の実施概要につき案内。現在、1 ブース 3 社、1 事業者あたりの負担金は 3 万円程度等を説明。添付の共同出展以降確認票にて、締め切りまでに展覧の意思、あるいは検討中であれば、その旨お知らせ頂きたい旨案内。

(2)トラベルマートについては、既にホテルニューグランド、八景島シーパラダイスは出展予定。ハードロックカフェは、ハードロックカフェジャパンとして出展。

(3)インセンティブだと共同出展は容易ではないかもしれないが、YCVB だけに任せてしまうと、商談においても YCVB も表面的な説明しかできないのでは。参加している企業の方が交代で参加できればと思うが、どうか？顧客と顔を合わせて話をしないと双方通じ合いにくい。今回は「体験」という意味で、共同出展は良いと思う。

(4)青木職員より、YCVB が出展することは既に決まっている。しかし、の具体的なニーズに応えるには、各事業者さんからの具体的なツール（具体的なパッケージ商品や、企画物、トラベルマートだけの予約枠や価格の提供等）が必要。そのツールを上手に利用できている福岡などのビューローは結果を出しているという過去の経験を共有。

(5)「横浜らしさ」については、下記のような意見が出た。

- ・SWOT等で東京に勝てない理由を分析して、弱みを強みに変える等を反映したツールが必要なのでは？東京になくて、横浜にあるものと言えば中華街。都内から地下鉄一本で来れる。また、外国人は日本の新幹線に憧れを持っており、東京―新横浜間で新幹線乗車体験を打ち出すのも一案。渋谷のスクランブル交差点は雑踏、大人の街横浜というイメージがあるのでは？
- ・統計によると中華街の散策は人気があるが、食事はあまり目的とはなっていない。中華料理なら中国で食べるという発想になる層も多い。横浜らしい食事＝中華街で中華料理ではインパクトが弱い。横浜、あるいは神奈川県らしい食材、葉山牛等も利用すべき。
- ・ラーメンもあるし、ラーメンという切り口もある。ラーメンはもはや日本の文化でもある。
- ・横浜発祥であれば、牛鍋はどうか。にわか尽くしではなく、歴史やストーリーは本物であるべき。
- ・横浜はビール発祥の地である。キリンビール工場では日本最高級のビールが飲める。

(6) 勉強会について

- ・色んな施設を見学するのはどうか？お互いに知ることによって自分の施設ではマッチしないが、他の施設へ紹介することが可能になるのでは？キリンビールの工場見学は、そこでしか飲めないビールや、出来たてのビールが試飲できるとのことで非常に興味がある。
- ・施設見学は新しい施設の開拓だけではなく、皆が知っている施設でもよいのでは？そこを訪れることで、新しい発見も可能となる。
- ・アジア圏でのインセンティブの趣旨としては、人件費の高騰という状況の中、ベアではなく、単発のインセンティブ旅行を実施することで従業員の満足度を向上させる狙いがある。従って、求められるのは満足度の向上、特別な体験、特別な場所等が挙げられる。横浜の特別な場所、特別感をどの様に打ち出すのかという議論も必要。
- ・ハードロックカフェでは、お客様が写真を撮るときは必ずメロイックサインと決めている。そこから高揚感や笑顔が生まれ、その写真がSNSやFBを通して、「楽しい時間」が拡散されることも期待している。ハードロックカフェのTシャツ等に企業のロゴを入れることもやっている。それで写真を撮ることは好評。
- ・我々が海外に行くと、いい加減な日本文化が蔓延していて、違和感を感じる。それはインドネシア人が日本に来て同じでは？勉強会で、例えばインドネシアの言葉や地理を勉強することも一案。
- ・東京は無理でも、横浜はまだインセンティブの取り組みを始めたばかりで、今の入り口でしっかり作り上げれば将来的によいものが出来るのでは？世界は東京に注目しているが、東京と違う路線を打ち出すのか、それとも、東京の隣の町で、東京にも行きやすいですよという切り口なのか議論が必要では。

4 今後のスケジュール

- (1) 勉強会は年内に実現したい。テーマは改めて相談させて頂きたい（青木職員）。
- (2) 次回のワーキングはお盆までに実施予定。改めて案内を流す。
- (3) 事業推進連絡会を別添⑦の通り6月26日に実施する。セミナーはインセンティブに特化したものであるため、積極的にご参加いただきたい。

以上

当日配布物

- 別添①：平成 27 年度インセンティブワーキングについて
- 別添②：JNTO インセンティブ関連資料
- 別添③：平成 27 年度 YCVB のインセンティブ関連について
- 別添④：横浜 MICE 開催応援プランのご案内
- 別添⑤：横浜コンベンションプランナーズガイド
- 別添⑥：VISIT JAPAN MICE マート 2015 共同出展資料
- 別添⑦：平成 27 年度 第 1 回賛助会員事業推進連絡会のお知らせ
- 別添⑧：平成 27 年度インセンティブワーキング参加者名簿